

原野昇先生の略歴と主要著作目録

略 歴

- 1943 (昭和 18) 年 3 月 9 日 兵庫県尼崎市塚口に生まれる
- 1949 (昭和 24) 年 4 月 広島県山県郡本地村立本地小学校入学
- 1950 (昭和 25) 年 8 月 広島市立江波小学校に転学
- 1955 (昭和 30) 年 3 月 同上卒業
- 1955 (昭和 30) 年 4 月 広島市立江波中学校入学
- 1958 (昭和 33) 年 3 月 同上卒業
- 1958 (昭和 33) 年 4 月 広島県広島舟入高等学校入学
- 1961 (昭和 36) 年 3 月 同上卒業
- 1961 (昭和 36) 年 4 月 広島大学文学部文学科言語学専攻入学
- 1965 (昭和 40) 年 3 月 同上卒業 (文学士)
- 1965 (昭和 40) 年 4 月 広島大学大学院文学研究科修士課程言語学専攻入学
- 1967 (昭和 42) 年 3 月 同上修了 (文学修士)
- 1967 (昭和 42) 年 4 月 広島大学大学院文学研究科博士課程言語学専攻進学
- 1967 (昭和 42) 年 9 月 フランス政府給費留学生としてパリ大学留学
- 1970 (昭和 45) 年 6 月 パリ大学文学博士 (Docteur ès Lettres) 取得
- 1971 (昭和 46) 年 3 月 広島大学大学院文学研究科博士課程言語学専攻退学
- 1971 (昭和 46) 年 4 月 広島女学院大学文学部専任講師
- 1975 (昭和 50) 年 4 月 同上助教授
- 1976 (昭和 51) 年 4 月 広島大学文学部助教授
- 1984 (昭和 59) 年 11 月 フランス碑文文芸アカデミーよりラ・グランジュ賞 (Prix de La Grange) 受賞
- 1988 (昭和 63) 年 10 月 広島大学文学部教授
- 1990 (平成 2) 年 8 月 フランス政府より教育功労勲章 (Palme Académiques) シュヴァリエ章受章
- 2001 (平成 13) 年 4 月 改組により、広島大学大学院文学研究科教授
- 2004 (平成 16) 年 4 月 法改正により、国立大学法人広島大学大学院文学研究科教授
- 2006 (平成 18) 年 3 月 広島大学停年退職予定

非常勤講師

安田女子大学

文教女子大学

広島商科大学（→広島修道大学）

ノートルダム清心女子短期大学

広島女学院大学

県立広島女子大学（→県立広島大学）

非常勤講師（集中講義）

広島大学：1973（昭和48）年度

島根大学：1981（昭和56）年度，1989（平成元）年度

岡山大学：1985（昭和60）年度，1993（平成5）年度

山口大学：1991（平成3）年度，1993（平成5）年度，1994（平成6）年度

信州大学：1993（平成5）年度

大阪大学：1996（平成8）年度

愛媛大学：1999（平成11）年度

九州大学：2003（平成15）年度

著訳書・論文・その他

I. 著書・編著書

1. *Le Roman de Renart, Branche IX* éditée d'après les manuscrits C et M
文化評論出版, 1972年 12月
2. *Le Roman de Renart* édité d'après les manuscrits C et M [共著]
フランス図書, tome I, 1983年 2月, tome II, 1985年 2月
3. 『狐物語の世界』 [共著]
東京書籍, 1988年 1月
4. *Les animaux dans la littérature*, Actes du Colloque de Tokyo de la Société Internationale Renardienne [共編著]
慶應義塾大学出版会, 1997年 12月
5. 『中世ヨーロッパに見る異文化接触』 [共著]
『『ロランの歌』に見る異文化』
溪水社, 2000年 9月
6. *Concordance du Roman de Renart d'après l'édition γ* [共著]
溪水社, 2001年 2月
7. 『中世ヨーロッパ文化における多元性』 [共著]
「フランス中世文学にみる多元性 - 『オーカッサンとニコレット』再読」
溪水社, 2002年 8月
8. 『中世ヨーロッパと多文化共生』 [共著]
「フランス中世文学にみる騎士像 - 多文化共生の視点から」
溪水社, 2003年 9月
9. 『中世ヨーロッパの時空間移動』 [共著]
「旅と巡礼の表象 - フランス中世文学にみる」
溪水社, 2004年 9月
10. 『フランス中世の文学』
広島大学出版会, 2005年 3月
11. *Le Roman de Renart*, [共著]
Paris, Editions générales (Livre de poche, "Lettres gothiques"), 2005年 5月
12. *Vocabulaire de l'ancien français - Actes du Colloque de Hiroshima* [編著]
溪水社, 2005年 6月
13. 『中世ヨーロッパにみる排除と寛容』 [共著]
「フランス中世文学にみる排除と寛容」
溪水社, 2005年 9月
14. 『フランス中世文学を学ぶ人のために』 [編著]
世界思想社, (印刷中)

II. 訳書

1. ハラルト・ヴァインリヒ著『時制論』 [共訳]
紀伊国屋書店, 1982年 5月
2. ハラルト・ヴァインリヒ著『言語とテキスト』 [共訳]
紀伊国屋書店, 1984年 11月

3. ピエール＝イヴ・パデル著『フランス中世の文学生活』
白水社, 1993年 5月
4. 『狐物語』〔共訳〕
白水社, 1994年 7月
5. ジャック・リバル著『中世の象徴と文学』
青山社, 2000年 5月
6. 『エネアス物語』〔共訳〕
溪水社, 2000年 10月
7. 『狐物語』〔共訳〕
岩波書店, 2002年 5月
8. 『狐物語2』〔共訳〕
溪水社, 2003年 12月

III. 分担執筆・項目執筆・教科書

1. 『レトリックと文体 一東西の修辞法をたずねて』(古田敬一編)
「フランス中世文学におけるレトリック」
丸善, 1983年 4月
2. 『フランス文学を学ぶ人のために』(田辺保編)
「II 中世から近代へ (1) 信仰の光のもとに, (2) "愛"の誕生, (3) ゴール人の笑い」
世界思想社, 1992年 7月
3. 『言語類型論と文末詞』(藤原与一編)
「フランス語の文末周辺」
三弥井書店, 1993年 9月
4. 『フランス わが愛 ーフランス学への一つの試み』(田辺保編)
「くり返される境界越え ー『ばら物語』再読」
青山社, 2000年 5月
5. 『世界歴史大事典』(梅棹忠夫, 江上波夫監修)
「ヴァレリー, ヴェルレーヌ, ジード, スタンダール, ドーデ, バルザック, プルースト, フローベール, ボードレール, マラルメ, ミュッセ, モーパッサン, モリエール, ラマルティエーヌ, ランボー, ロマン・ロラン」
教育出版センター, 1985年 6月
6. 『世界・日本 キリスト教文学事典』(遠藤祐, 高柳俊一, 山形和美他責任編集)
「アムール・クルトワ, ヴィヨン, ヴィルアルドゥアン, クリスチーナ・ド・ピザン, クレチャン・ド・トロワ, グレバン, ジョワンヴィル, ベルナルド・ド・ヴァンタドゥール, マリ・ド・フランス, リュトプフ, ローランの歌, 騎士道物語(フランス), 聖杯伝説(フランス)」
教文館, 1994年 3月
7. 『岡山県歴史人物事典』
「長崎広次」
山陽新聞社, 1994年 10月
8. 『生きたフランス語文法』〔共著〕
白水社, 1979年 3月
改訂版, 1984年 3月

IV. 論文

1. Edition critique de la Branche de Brun et de Lietart du *Roman de Renart* d'après le manuscrit 1579 de la Bibliothèque Nationale (fonds français) et le manuscrit de Turin
パリ大学提出学位請求論文, 1970年 6月
2. 『狐物語』一枝篇の文体論的考察 『文体論研究』18号, 1972年 1月
3. CおよびM写本による『狐物語』の校訂(第9枝篇の場合)
『フランス語フランス文学研究』21号, 1972年 10月
4. 『狐物語』枝篇対照一覧表 『広島女学院大学論集』22集, 1972年 12月
5. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (1)
『広島女学院大学論集』23集, 1973年 12月
6. 古代フランス語 "aler le chemin" について
『ニダバ』(西日本言語学会)3号, 1974年 3月
7. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (2)
『広島女学院大学論集』24集, 1974年 12月
8. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (3)
『広島女学院大学論集』25集, 1975年 12月
9. 古代フランス語における動詞語幹名詞 (Déverbaux) について
『廣大言語』15号別冊, 関本至先生御退官記念論文集, 1976年 3月
10. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (4)
『広島大学文学部紀要』37巻, 1977年 12月
11. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (5)
『広島大学文学部紀要』38巻, 1978年 12月
12. Sur le terme *branche*
Etudes de langue et littérature françaises, 34号, 1979年 3月
13. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (6)
『広島大学文学部紀要』39巻, 1979年 12月
14. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (7)
『広島大学文学部紀要』40巻, 1980年 12月
15. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (8)
『広島大学文学部紀要』41巻, 1981年 12月
16. *Le Roman de Renart*, édité d'après les manuscrits C et M ... (9)
『広島大学文学部紀要』42巻, 1982年 12月
17. 古フランス語における最小価値による否定誇張表現
『言語学論叢 関本至先生古稀記念論文集』, 溪水社, 1983年 6月
18. フランス中世文学作品の校訂について
『広島大学文学部紀要』43巻, 1983年 12月

19. Caractères des manuscrits du groupe γ du *Roman de Renart*
Epopée animale, Fable et Fabliau, Paris (PUF), 1984 年 10 月
20. 武勲詩『オランジュ占領』の非武勲詩的特徴
 —フランス中世文学作品のジャンル再考察のために
 『文体論研究』31号, 1984 年 11 月
21. 『狐物語』C 写本の文法的特異性
 『広島大学文学部紀要』45 卷, 1986 年 1 月
22. Sur un nouveau fragment du *Roman de Renart* [共著]
Romania, t. 106, 1986 年 10 月
23. *Le Roman de Renart*, édité d'après le ms. *n* — (1)
 『広島大学文学部紀要』46 卷, 1987 年 2 月
24. 『狐物語』の新発見断片写本について
 『フランス語フランス文学研究』51号, 1987 年 10 月
25. *Le Roman de Renart*, édité d'après le ms. *n* — (2)
 『広島大学文学部紀要』47 卷, 1988 年 1 月
26. Sur le manuscrit *t* du *Roman de Renart* [共著]
Reinardus, vol. 1, 1988 年 6 月
27. *Le Roman de Renart*, édité d'après le ms. *n* — (3)
 『広島大学文学部紀要』48 卷, 1989 年 1 月
28. Filz au putain
Reinardus, vol. 3, 1990 年 6 月
29. 『狐物語』第7枝篇におけるレトリック
 —「フランス中世文学におけるレトリック」補遺
 『広島大学文学部紀要』50 卷, 1991 年 3 月
30. Quelques particularités de la branche VII du *Roman de Renart*
Reinardus, vol. 5, 1992 年 6 月
31. Le problème des principes d'édition et le ms. C du *Roman de Renart*
Reinardus, vol. spécial, 1993 年 6 月
32. 中世フランス語における時間表現 — 1日の時間表現
 『広島大学文学部紀要』53 卷, 1993 年 12 月
33. Historique et état actuel de l'étude des chansons de geste françaises au Japon, in
Mélanges de langue et de littérature du moyen âge offerts à Teruo Sato, Partie II
 フランス図書, 1993 年 12 月
34. A tire-l'arigot 考
 『吉川守先生御退官記念言語学論集』 溪水社, 1995 年 3 月
35. 『狐物語』研究の現況
 『フランス文学』(日本フランス語フランス文学会中国・四国支部)

- 20号, 1995年 6月
36. Le texte γ de la branche IV du *Roman de Renart*
Reinardus, vol. 9, 1996年 6月
37. Salade 考
Mélanges in Memoriam Takeshi SHINMURA, フランス図書, 1998年 1月
38. 広島フランス人墓地 『仏蘭西学研究』28号, 1998年 7月
39. 『狐物語』の背景 — 環境と文学の視点から
『広島大学フランス文学研究』17号, 1998年 11月
40. Manuscrit *t* du *Roman de Renart* — (1)
『広島大学文学部紀要』58巻, 1998年 12月
41. 『狐物語』第4枝篇の構造分析
Plume (名古屋仏文学会論集) 3号, 1999年 3月
42. 新発見の『散文トリスタン』写本
『フランス語フランス文学研究』75号, 1999年 10月
43. Le texte γ de la branche III du *Roman de Renart*
Reinardus, vol. 12, 1999年 10月
44. Manuscrit *t* du *Roman de Renart* — (2)
『広島大学文学部紀要』59巻, 1999年 12月
45. Manuscrit *t* du *Roman de Renart* — (3)
『広島大学文学部紀要』60巻, 2000年 12月
46. 『吾輩は猫である』をフランス語で読む
『ニダバ』30号, 2001年 3月
47. Fragments du *Tristan en prose* (version III) [共著]
Romania, t. 119, 2001年 6月
48. 『ロランの歌』における女性
『広島大学文学研究科論集』61巻, 2001年 12月
49. aarbrer 考
『古浦敏生先生御退官記念言語学論集』, 溪水社, 2002年 3月
50. *Concordance du Roman de Renart* について
『ロマンス語研究』35号, 2002年 5月
51. 固有名詞 *Renart* と普通名詞 *renard* の間
『広島大学フランス文学研究』22号, 2003年 11月
52. *Franchissements répétés — Relire le Roman de la Rose de Guillaume de Lorris La Chevalerie du moyen âge à nos jours*, *Mélanges offerts à Michel Stanesco*,
Editura Universitatii din Bucuresti, 2003年 12月
53. 広島フランス人墓地の兵士について

『仏蘭西学研究』34号, 2004年 8月

54. Sur le mot *croerre*
Vocabulaire de l'ancien français — Actes du Colloque de Hiroshima,
溪水社, 2005年 6月
55. De *Renart* à *renard*
Qui tant savoit d'engin et d'art, Mélanges de philologie médiévale offerts à
Gabriel BIANCIOTTO Poitiers (CESCM), (印刷中)
56. *Pelerinage de l'Ame* の新発見断片写本
『フランス語フランス文学研究』88号, (印刷中)
57. Un fragment du *Pelerinage de l'Ame* *Romania*, t. 123, (印刷中)
58. Sous quel nom désigner une partie du ms. *H* du *Roman de Renart* ?
Reinardus, vol. 18, (印刷中)
59. 『狐物語』γ群テキストの特徴 — 第14枝篇の場合
『表現技術研究』(広島大学表現技術プロジェクト研究センター) 2号, (印刷中)

V. 研究ノート・報告書・紹介

1. Nexus 論に関する愚問 『廣大言語』3号, 1963年 12月
2. P. Imbs, *L'Emploi des temps verbaux en français moderne*, Paris, 1960 (紹介)
『廣大言語』5号, 1965年 12月
3. ロランは向こう見ずで, オリヴィエは慎重
— ピエール・ジョナン訳『ロランの歌』(ガリマール, 1979年刊) (紹介)
『流域』4号, 1981年 4月
4. Daniel POIRION, *Le merveilleux dans la littérature française du moyen âge*,
Paris, (PUF, "Que sais-je?"), 1980 (紹介)
『広島大学フランス文学研究』2号, 1983年 9月
5. Jean-Charles PAYEN, *Littérature française*, 1. Le moyen âge, Paris (Arthaud), 1984
(紹介) 『広島大学フランス文学研究』3号, 1984年 10月
6. うなぎの首飾り? 『広島大学フランス文学研究』5号, 1986年 11月
7. 新創刊雑誌紹介 『広島大学フランス文学研究』8号, 1989年 10月
8. 中世文学研究におけるコンピュータ利用
『広島大学フランス文学研究』15号, 1996年 10月
9. Numérisation du *Roman de Renart*
Les Animaux dans la littérature — Actes du Colloque de Tokyo,
Keio University Press, 1997年 12月

10. *Le Roman de Renart* 関係新刊二著
『広島大学フランス文学研究』17号, 1998年 11月
11. 『狐物語』Roques 版の最終巻
『広島大学フランス文学研究』18号, 1999年 11月
12. 国内所蔵のフランス語写本
(平成11～13年度科学研究費, 基盤研究(c)(2)報告書) 2002年 3月
13. *Exclusion and Tolerance in Medieval Europe* — Proceedings of International Research Conference at Hiroshima University [共編著], *Exclusion and Tolerance in La Fille du comte de Pontieu*
溪水社, 2005年 9月

VI. その他

1. パリの屋根裏部屋 『広島日仏協会報』No. 53, 1970年 11月
2. 二つの学会に出席して 『広大言語』10号, 1970年 10月
3. パリの屋根裏部屋(2) 『広島日仏協会報』No. 54, 1971年 9月
4. 『狐物語』の写本について 『広大言語』11号, 1971年 12月
5. パリ国立図書館の想い出 『広島女学院報』51号, 1972年 1月
6. 「ファルビュの農夫」(ジャン・ボデル作, 原野昇訳)
『広大言語』13号, 1973年 12月
7. 「医者になった農夫—フランス中世俗話」(作者不詳, 原野昇訳)
『広大言語』14号, 1974年 12月
8. フランスの大学教授組織 『広島日仏協会報』No. 65, 1976年 12月
9. 広島にまかれた種 『中国新聞』夕刊「でるた」欄, 1977年 5月
10. 尊敬する論客へ(リレー書簡) 『基礎フランス語』(三修社), 1979年 8月
11. 大騒ぎをするとブドウ酒がくさる(フランス語こぼれ話)
『広島日仏協会報』No. 76, 1980年 6月
12. ロワール河畔 『広島日仏協会報』No. 80, 1981年 12月
13. セート訪問
『不死鳥』(広島大学レクリエーション委員会)21号, 1982年 3月
14. ヴァグネル先生 『流域』8号, 1982年 6月
15. 第4回国際動物叙事詩学会報告
『広島大学フランス文学研究』1号, 1982年 9月
16. ××ネスコさん 『中国新聞』夕刊「でるた」欄, 1982年 8月
17. トリノ図書館火災
『河図洛書』(溪水社創立10周年記念誌), 1985年 4月
18. 二つの中世関係セミナー
『広島大学フランス文学研究』4号, 1985年 11月

19. 二千年祭を祝うオータン 『不死鳥』26号, 1987年 3月
20. 広島大学購入のフランス中世写本
『図書館だより』Vol. 14, 1987年 9月
21. 第7回国際動物叙事詩学会報告
『広島大学フランス文学研究』6号, 1987年 10月
22. ハドリアヌスの壁 『不死鳥』27号, 1987年 3月
23. 狐学会 『学内通信』No. 261, 1988年 1月
24. 記憶・忘却・記録 『広島日仏協会報』No. 100, 1988年 3月
25. 清流 『広島大学フランス文学研究』7号, 1988年 10月
26. フランス(人)をもっと知りたい人のために(新刊書ほか紹介)
『広島日仏協会報』No. 112, 1991年 3月
27. A la Saint Glinglin! (フランス語こぼれ話)
『広島日仏協会報』No. 115, 1991年 12月
28. パリ第四大学と交流協定結ばれる
『廣大フォーラム』No. 299, 1992年 9月
29. ある墓碑銘板 『不死鳥』32号, 1993年 3月
30. 幻の銀婚祝い 『追悼 関本至』, 溪水社, 1994年 5月
31. ポール・ヅムトル教授(1915-1995)
『広島大学フランス文学研究』14号, 1995年 10月
32. 時の舞 『中国新聞』夕刊「でるた」欄, 1995年 4月
33. 自著を語る『狐物語』 『廣大フォーラム』No. 322, 1995年 9月
34. ルナルとルナル
「ジュール・ルナル全集第8巻月報」, 臨川書店, 1996年 1月
35. 国際動物叙事詩学会東京大会
『広島大学フランス文学研究』15号, 1996年 10月
36. フランス中世のフェニックス伝説 『不死鳥』36号, 1997年 3月
37. にわとりとフランス(フランス語こぼれ話)
『広島日仏協会報』No. 139, 1997年 12月
38. 生の声 -国際フランス語教授連合第9回大会に出席して
『フランス語の祭典 -国際フランス語教授連合第9回大会記録』,
朝日出版, 1998年 10月
39. Notre maître inoubliable [共著]
Bulletin (Académie du Morvan), No. 50, 2000年 11月
40. スイス・フランスのメディアエヴィスト訪問記
『流域』49号, 2000年 12月
41. 駐日フランス大使講演会 『廣大フォーラム』No. 363, 2001年 4月

42. 20号に寄せて 『広島大学フランス文学研究』20号, 2001年 11月
43. フランス中世の羊皮紙と写本 『広島日仏協会報』No. 156, 2002年 6月
44. 「シャルルマーニュのイェルサレム旅行」「アレクサンドルの海底旅行」
「アレクサンドルの空中旅行」(原野昇訳)
「旅と巡礼ー中世ヨーロッパの時空間移動」(平成15年度広島大学公開講座テキスト) 2003年 9月
45. 子孫見つかるー比治山フランス人墓地
『広島日仏協会報』No. 162, 2003年 12月
46. Souvenir Français 協会について
『広島日仏協会報』No. 162, 2003年 12月
47. 自著を語る『中世ヨーロッパに見る異文化接触』『中世ヨーロッパ文化における多元性』『中世ヨーロッパと多文化共生』〔共著〕
『広大フォーラム』No. 381, 2004年 4月
48. 去年の雪 今いずこ 『流域』53号, 2004年 1月
49. 生まれ故郷に記念銘板ー比治山墓地のフランス人兵士
『広島日仏協会報』No. 165, 2004年 10月
50. Hommage à Brian Levy
La 2^e Circulaire du Colloque Renardien à Münster, 2005年 1月
51. 解放60周年を祝うパリ 『不死鳥』44号(Web版), 2005年 5月
52. Emmanuèle BAUMGARTNER 女史追悼
「国際アーサー王学会日本支部ニュースレター」No.18, 2005年 9月
53. 中世文学特集を今 『流域』57号, (印刷中)
54. ルナールとイヴ 『流域』57号, (印刷中)
55. 座談会「フランス中世文学と日本」 『流域』57号, (印刷中)
56. 30^e anniversaire Reinardus, vol.18, (印刷中)
57. 中世写本と楽しんだ日々
『人文学へのいざない』(広島大学大学院文学研究科), (印刷中)
58. 組織の活性化 HU-information (広島大学), (印刷中)